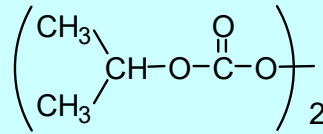


パーロイル® IPP (PEROYL® IPP)
 ~ Diisopropyl peroxydicarbonate ~



分子式：C₈H₁₄O₆ 分子量：206.20 理論活性酸素量：7.76%

特 徴 パーロイル® IPPは、低温活性な有機過酸化物であり、酢酸ビニル、塩化ビニリデンなどの各種ビニルモノマーの重合開始剤として有用です。また、プラスチックレンズの硬化剤としても使用されています。

品 質	パーロイル® IPP-50	パーロイル® IPP-27 (CR)
純度	50%	27%
希釈剤	トルエン	モノマー
外観	透明液体	

保 管 温 度	保管温度	-15℃以下
----------------	------	--------

包 装 形 態	包装形態	10kg (10kg × 1)
----------------	------	-----------------

一 般 的 性 状	比重	0.990 (0℃)	1.156 (0℃)
------------------	----	------------	------------

半 減 期 及 び 活 性 化 エ ネ ル ギ ー	1 分 間 半 減 期 温 度	1 時 間 半 減 期 温 度	10 時 間 半 減 期 温 度	活 性 化 エ ネ ル ギ ー	頻 度 因 子
	88.3℃	56.2℃	40.5℃	126.3kJ/mol	7.43 × 10 ¹⁹ hr ⁻¹

(ベンゼン中における熱分解：過酸化物濃度：0.05mol/L)

安 全 性	圧力容器試験 (消防式)	1mm オリフィス	10/10	0/10
		9mm オリフィス	0/10	—
	熱分析 (DSC)	発熱開始温度	75℃	80℃
		発熱量	712J/g	850J/g
	引火点	12℃ (セタ密閉式)	>70℃ (タグ密閉式)	
	発火点 (ASTM E659)	453℃	385℃	
	S A D T	5℃	10℃	

適 用 法 令	消 防 法	第5類 第二種自己反応性物質	
労働安全衛生法		危険物・爆発性の物 その他の有機過酸化物 危険物・引火性の物 第2種有機溶剤等 トルエン 作業環境評価基準 トルエン	危険物・爆発性の物 その他の有機過酸化物
		名称等を表示すべき危険物及び有害物 トルエン 名称等を通知すべき危険物及び有害物 トルエン (政令番号：407)	通知対象物を含有せず
	P R T R 法	第1種指定化学物質 トルエン (管理番号：300)	第1種並びに第2種指定化学物質を含有せず
	船 舶 安 全 法	酸化性物質類・有機過酸化物	
	航 空 法	輸送禁止	
	化 審 法	優先評価化学物質 トルエン	—

そ の 他 の 分 類	国連分類	クラス5.2 国連番号 3115
	CAS-No.	105-64-6
	官報公示整理番号	(2)-1723 (化審法、安衛法)
	TSCA	登録有り
	EINECS	203-317-4

記載内容の取扱い

記載内容は現時点で入手できた資料、情報、データに基づいて作成していますが、記載のデータや評価、危険性等に関しては、いかなる保証もなすものではありません。また、記載事項は通常の取扱いを対象としたものですので、特別な取扱いをする場合には用途、用法に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。

お問い合わせは、peroxide@nof.co.jp までお願いします。